

平成 29 年 7 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

7 月の業種別景況の前月比 DI 値は 14 業種の内、好転が 4 業種、悪化が 4 業種、昨年同等が 6 業種となり、全体の景況感は、ほぼ横這いであった。

小売業、商店街では夏祭りやセール等により売上が増加し、建設業、運輸業でも売上が増加の様相である。一方、繊維工業、一般機器、卸売業、サービス業では、受注・売上の減少の報告である。

相変わらずの人手不足、採用難が続いており、将来を担う人材不足を懸念する声も出ている。

山口県の主要指標 DI 値（平成 29 年 7 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 6.3% 悪化：27.5% DI 値：▲21.2% ポイント

売上高 (< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)

前年同月比は、増加： 18.8% 減少：30.0% DI 値：▲11.2% ポイント

収益状況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 8.8% 悪化：28.8% DI 値：▲20.0% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 29 年 7 月末現在）

				
30 以上	30 未満～ 10 以上	10 未満～ ▲10 以上	▲10 未満～ ▲30 以上	▲30 未満

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲28.6	▲50.0	▲33.3	▲50.0	▲33.3	0.0	0.0	▲27.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業
▲20.0	▲22.2	▲25.0	▲27.3	▲10.0	0.0	▲100.0	▲19.2
							

全体
▲21.2


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	職人をはじめ正社員、パートも不足しているが、採用が困難な状況が続いている。盆の売上に期待している。	パン・菓子製造業
	売上は7/28時点で対前年同月比は、ほぼイーブン。7/2の萩瀬付あじ祭りは15,000人の集客で賑わった。7/20以降は平日でも通常の土曜日並の入館数で推移している。本格的に通販に取り組むこととし、明治維新150年関連企画も進行中。	水産食料品製造業 萩市
	商品の動きが悪い。世の流れが読みづらい。	水産食料品製造業 下関市
	台風が7つも発生するなど、温度が高い状態が続いており、特に野菜などの農作物の生育について、影響が出ている。地球温暖化に伴い、大型台風など、過去の知見が全くいかせない状況となっており、企業経営における天候リスクがさらに高まってきている。	精穀・製粉業
繊維工業	6月に引き続いて厳しい状況が続いている。	外衣・シャツ製造業 下関市
	7月末から8月盆休み前の納期に追われバタバタしているが、その後の受注に苦労している工場の話をよく聞く。工場の営業力により9月以降の受注にかなりの差が出そうで、収益状況や資金繰りが心配されるため、業界で横の連携を図り、受注に向けての新しい体制を構築することが必要ではないかと考えている。	外衣・シャツ製造業 萩市
木材・木製品	組合員の生産が少し上向きの傾向にある。	製材業・木製品製造業 山口市
	大型公共工事の着工で操業度は上がったが、工事費の入金が年末以降になりそうで、資金繰りに窮する組合員が出そう。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	組合員企業によってバラツキはあるが、7月の印刷受注量がかなり落ち込んでいると報告があった。	印刷 下関市
	早くも夏枯れが始まった。	印刷 山口市
窯業・土石製品	7月の出荷量は、 （平成28年7月） 骨材 93%、路盤材124%、再生材 75% ↓ （平成29年7月） 骨材 83%、路盤材103%、再生材134%	砕石製造業

	出荷量は、前月比 101%、前年同月比 109%。現時点でのセメント・骨材等の資材調達では、特に問題は生じていない。生コン価格は安定している。	生コンクリート製造業
	近年の地球温暖化で体調維持に特に気をつけなければいけない季節となったと身に染みて感じている。手伝人の高齢化も進んだので、新規雇用人数を増やす事も必要なことだが、この先を考えると大きな賭けである。自分の体調に気をつけながら、自分自身が如何に動いていけるか、休養も含めて考えなければならない。	石工品製造業
	萩市内の観光客数及び売上は昨年同月と比較して、先月同様、厳しい状況が続いている。組合が商品を提供している浅草のアンテナショップの売上は、前年度同月と比較して、先月同様大きく下回っている状況。このたび、以前より取り組んでいた萩焼協同組合のカタログが完成したので、各組合員店舗や取引先、関連事業所で活用し、販売促進につなげていきたいと考えている。	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	従業員の募集をかけてもなかなか人が集まらないと言う話を最近よく耳にする。	一般機械器具製造業 周南市
	海外プラント関係の受注の動きが止まった。自動車関連の受注は横ばいの状況。相変らずの人手不足。	一般機械器具製造業 防府市
	機械検査、機械加工関係の下請企業の受注状況は引き続き安定している。食肉加工、惣菜、自動車、造船関係は好調で残業も多く、パート、派遣も含め人材の確保が困難であり、外国人技能実習生受入の増員の相談があった。また、農業、養豚、建設資材、空港グランドハンドリング企業からも実習生受入の相談があった。なお、介護の受け入れについても、引き続き、中国、ベトナムへの調査を進め、準備を進めている。人数枠の拡大、5年への延長についても要望があり準備を進めている。	一般機械器具製造業 宇部市
	6月と同程度で推移している。	
輸送機器	車輛部門は夏場を迎え作業高が一服の状態です。少し低下しているが、秋以降は上昇に転ずる見込みである。精密加工部門も同様に踊り場の状態で様子見をしている。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	この時期は「いりこ」のみの入庫であり、他荷物の動きは少ない。「いりこ」は昨年より230%の入庫となったが、在庫は15.7%の減少している。これからの「いりこ」シーズンに期待している。	乾物卸売業
	“ふく”はシーズンオフとなり売先が無いので、冷凍の在庫づくりをしている。鮮魚は暑さのため入荷が少なく、価格が上昇している。	生鮮・魚介卸売業

	ガソリン価格の高騰で少し大変な事業所がある。	各種商品卸売業 防府市
	猛暑が続き、飲料・製氷関連商品の売上が増加。	各種商品卸売業 山口市
小売業	組合員数社の売上は前年同月比で微減。梅雨が明けたにも関わらず夏物が売れず、また、新規の客が取りにくくなっているとの事である。他の業種から化粧品業界への参入があり、これが伸び悩んでいる原因と思われる。	化粧品小売業
	中心市街地で夏祭りを開催したが、途中の通り雨にも関わらず、前年より人出が増加。	各種商品小売業 周南市
	梅雨とはいえ晴れの日が多く、衣料品や清涼飲料などの夏物商品の動きが良好。町内海水浴場の来場者も多く、出店の売上は好調である。米軍艦載機の岩国基地への移駐が決定し、引き続き建設業・設備業は米軍住宅や防音工事等で順調。良くも悪くも基地頼みの地域になりつつある。また、レストランや食堂も週末は、家族連れ客が多く繁盛している。小売業については従来通り厳しい状況が続いている。	各種商品小売業 岩国市
	夏祭りが開催され客数が増加し、店舗によっては売上が少し増加した模様。また、夏休みに入り、来街者が前年よりも増加している。	各種商品小売業 山口市
	ポイント倍セールを2週間開催し、最終3日間で商店街で使用できるお得な商品券交換を行うポイント祭を開催したところ、お客様の購買意欲が上がり、前月より各店舗の売上増加に繋がった。	各種商品小売業 下関市
	猛暑が続き、衣料品店舗の売上不振で、全店ベースでの売上も前年を下回まる状況。	各種商品小売業 長門市
商店街	猛暑が続き、飲料・冷菓、夏物衣料の早期セールの期間に入り、各店ともに売上が好調。「緩やかな持ち直し」の動きかとも考えられる。夏祭り期間でもあり、活気がある。	山口市
	暑さのせいなのか、客足が減少している。商店街としての目玉の店が6月一杯で2軒退去し、景気の悪化を実感している。	宇部市
	衣料品の売上は人出が多少増えたにもかかわらず、伸びていない。薄手の衣類は価格が安く売上が伸ばすまでには至っていない。食料品の売上は飲料関係を主として伸びているが、他食品はあまり変わらない。猛暑のせいではないかと言っている。	萩市
サービス業	雨の日が少なかったので客足もコンスタントにあるが、売上は例年通り。近年、30代の美容師の独立が多いが、業界全体の限られたπの分配となっており、厳しい状況が続いている。	美容業

	暑さが厳しいので髪を切るお客様の来店を期待していたが、依然として不変の状況。	理容業
	県内の整備事業者から、「若い自動車整備士の確保が難しい」との声が聞こえてくるようになってきた。ディーラー人事担当者の話しによれば、現在の若者の就職の条件は、「土日が休みで残業がないところ」を好む傾向があり、この条件に合わない整備業界には来てくれないらしい。また、採用しても2～3年で辞めて他の職種につくようで、深刻な整備士不足が到来することが予想される。	自動車整備業
	人手不足が続いている。業況は悪くは無い。	スポーツ・健康教授業
	宿泊人員は対前年同月比で90%と大幅な落ち込みとなった。昨年はインターハイが開催されたが、今年はそれに代わるイベントが無く10%減となった。売上についてはほぼ昨年並みに推移した。	旅館業 山口市
	熊本地震のあった昨年は、宿泊者数が落ち込んでいたが今年は伸びており、夏休みの予約も順調に入っている。宴会は今一つ伸び悩んでいる。全体的にはゆるやかに上向いている模様である。	旅館業 下関市
	施設利用者（入浴者数）は昨年並みを確保したが、売店部門の売上は減少が続いている。総売上で8%の減となった。厳しい状況が継続している。	旅館業 長門市
	人材不足の声が多い。天気の変動に客足が左右される。景気は例年通りに思える。	飲食業
	冬物衣類のクリーニングはほぼ出終わった感じである。毛布・布団・カーペットのクリーニングは昨年に比べ需要は減ってきてはいるが、ある程度の受注量はキープできているもようである。梅雨明け後の天候がはっきりせず需要に波があり、各社とも工場稼働を調整しながら利益確保に努めている。	普通洗濯業
	観光バスの運転手不足が問題となっている。北九州朝倉、日田地方の水害により、九州へのツアー等が風評被害のせいか減少している。	旅行業
建設業	6月の山口支部の中電への工事申請は276件。そのうち、太陽光発電の申請32件、オール電化申請115件。LED街路灯への切り替・新設は12件であった。	電気工事業
	春先より毎月の工事請求額の減少している企業は多いが手持ち工事はそれ程減少していない。県教育委員会主催の就職促進協議会（5月中旬～6月上旬計7回）に出席した建設業労務系の専門工事業者は殆どいない。	左官業

	<p>1年でも今が発注の多い時期で順調に仕事をしており、各種積算単価も値上げの改定がなされたので、前年よりも売上が増加している。しかし、暑さを嫌い誘導員（ガードマン）が更に不足し、警備会社の値上げもあって、人件費が通常の価格より2,000円～3,000円上がっている工事も見うけられる。</p>	管工事業
	<p>梅雨明け以降、猛暑が続く屋根工事業にとっては一番仕事のやりにくい時期である。炎天下の作業のため、現場の施工管理（工期の管理、人員の手配・確保及び健康管理）等に注力せざるを得ない。現場の働き手（かわらぶき技能士、手元職人）を安定的に確保することが、今後、生き残るためのポイントとなるであろう。</p>	屋根工事業
	<p>7月の内装工事業は、5～6月の業績の低迷からようやく抜け出したように感じた。引き続き8月も稼働率100%を超えて忙しくなる予定。</p>	内装工事業
	<p>地区の建設業者は、低調なままである。悪い状況に慣れて、設備投資・人材確保・新技術の導入等にも意欲が全然感じられない。少人数の建設業者が2社脱退したが、原因は会費等の支出がもったいない等である。建設業者はまず工事がある成り立ち、地域が活性化するのだが、期待できない状況である。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>受注高は、対前年同月比94%。今年度の累計は、対前年比243%。</p>	土木工事業 萩市
運輸業	<p>鉄工素材の輸送は、中・近距離輸送がやや活発、輸送関係は横ばい。相変わらずのドライバー不足、働き方や残業0等は、中小の輸送業者にとっては大きな問題との声が多く、良く聞かれる。燃料費は1.4円の値下げである。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>輸送の受注は、対前年同月比で若干のプラスの見通し。今後も同程度で推移すると思われるが、景況の好転には乗務員不足が障害となっている。燃料単価は低位に推移しているが、対前年同月比では10%程度上昇している。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>運送部門・倉庫部門ともに、荷物が増えてきている。飲料水等の季節物が増加しているほか、大口ではないものの小口・中口の輸送・保管案件が増えている様子。採用人数が追いついていない。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>催事も無い月で、タクシーの利用・売上は例年通りであった。</p>	一般旅客自動車運送業 下関市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲1.5%（平成29年6月1日～平成29年7月20日分）。6月1日～30日分は▲2.5%、7月1日～20日分は+0.0%であった。前年度の金額が前々年とほぼ同額（前年6月分+0.1%）であったので回復傾向とは言えない状況である。当組合の取扱いは、光市，下松市，周南市，防府市の地域で、6月分は、周南▲0.4%，下松▲1.6%，光+5.6%，防府市地区が▲1.5%となり、組合員の全域では▲0.3%、地区外（員外）▲29.9%で合計▲2.5%であった。主要燃料のLPGは、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、前月に続いてさがったが、ブタン，プロパンのCPはまだ前年に比べると高い状態（前月390.0\$/トンが今月377.5\$/トン、前年337.5\$/トン）である。為替が少し円高になり、燃料単価は、前月より▲1.6%となったが、前年7月分に比べると+8.8%となっている。乗務員は慢性的に不足し、高齢で退職する人員減少を、採用で補いきれないため、稼働できない車両がある状況。前年6月が前々年6月より微増だった事もあり、今年6月分は▲2.5%であった。7月20日現在横ばいの状態で、回復の勢いは弱くむしろ減少傾向にあるように感じる。夏祭り等の行事が開催されるが、今月後半の需要は予断を許さない状況だと思う。</p>	<p>一般旅客自動車運送業 周南市</p>
	<p>売上高は、前年同月比で若干ながら増加している。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他 非製造業</p>	<p>需要は多いが供給の面で職員の質に多少問題を抱えている。</p>	<p>介護事業</p>